

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : College of Charleston

留学期間 : 平成 28 年 8 月 20 日 ~ 平成 30 年 5 月 15 日

現在は三学期目となり、留学生活にも大分慣れてきました。学内でもインターナショナルクラブとベリーダンスクラブに所属しています。私が留学中に大切だと思ったことは、すべてに慣れすぎないことです。一学期は生活に慣れるだけで過ぎてしまいます。二学期には自分の身の回りのことにより目が行くようになり、新しいことにチャレンジできる余裕もできます。三学期にもなると、新しく始めたことにも慣れて生活をこなせるようになります。そんな時、現状に満足するのではなく、常に新しいことに挑戦し続ける姿勢がとても重要だと思います。そうでないとただ毎日同じことの繰り返しになってしまいます。新しいクラブや学校でのイベントに参加するのも、自分で何か新しいことを学び始めるなど、できることは無限大にあると私は感じます。時間のある学生の中に、将来のことについてじっくり考えることも重要だと思います。

もう 1 点、他の留学生を見ていて、留学生は留学生同士で固まりがちだと感じました。自分と同じ国出身の人と常に一緒にいては言語の練習もできません。また、出身国が違っても留学生同士は同じ状況・立場にあるということもあり、共感できることも多いので一緒にいて居心地がいいというのも事実です。他の国からやってきた留学生と文化を共有することは意味のあることですし、素晴らしい体験だと思います。しかし、そこでアメリカの現地の学生と全く交流しないということに、私は少し疑問に感じました。アメリカにやってきてその地で生まれ育った人と交流を深めることでより多くを学び、理解を深めることができると思います。このような理由で、私はインターナショナルクラブとベリーダンスクラブの両方に所属しています。

これから留学する人たちには、とにかく自信を持ってください、と伝えたいです。これは私がアメリカでの生活を通じて感じたことですが、自分の意見に自信を持っていないと誰も耳を傾けてくれないと思います。日本人とは違いアメリカ人は自分の意見をはっきりと持っていて、他人が自分の意見に反対することもあまり気にしません。そのような考えを持った人たちの中で同等に発言力を持ち、流されないことは大切だと感じました。英語があまりすぐに出てこなかったり、発言をためらったりすることもありましたが、練習あるのみだと私は思います。